

令和 6 年 6 月 5 日現在

機関番号：12603

研究種目：若手研究

研究期間：2020～2023

課題番号：20K13024

研究課題名（和文）失われつつあるカチン族の言語文化の記録・保存・継承

研究課題名（英文）Documentation, maintenance, and revitalization of the endangered language and culture of the Kachin people

研究代表者

倉部 慶太（KURABE, Keita）

東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・准教授

研究者番号：80767682

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,300,000円

研究成果の概要（和文）：ミャンマー北部の言語文化に関する語りのドキュメンテーションを進め、テキスト資料の編纂、資料のデジタルアーカイブ化、テキストを用いた語彙と文法の分析、現地コミュニティの言語文化の再活性化活動等を通じて、失われつつあるカチン族の言語文化の記録・保存・継承に貢献した。言語文化資料のセグメンテーション・書き起こし・翻訳・アノテーションを進め、研究期間内に整理した一千話以上の資料を国際的なデジタルアーカイブで公開した。これらの資料に基づく論文15件、発表29件、図書3件を公開した。同時に、現地コミュニティへのアウトリーチを目的とした145話の語りの紙芝居動画と111話の識字教材絵本を公開した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

ミャンマー北部の言語文化は学術研究と現地コミュニティ双方にとって高いポテンシャルを示す一方、近年の急速な社会変容によって失われつつあり、その記録・保存・再活性化が喫緊の課題となっている。本課題ではフィールドワークで蒐集した現地の言語文化を色濃く反映する語りのテキストの整理、分析、アーカイブ化を進めるとともに、現地コミュニティに向けたアウトリーチも行うことで、学術研究と現地コミュニティ両者に貢献することができた。

研究成果の概要（英文）：We have made significant contributions to the documentation, preservation, and revitalization of Northern Myanmar's endangered Kachin language and culture. These efforts include compiling text materials, archiving the resources, analyzing vocabulary and grammar from the texts, and engaging in language and cultural revitalization within the community. Throughout the research period, we have segmented, transcribed, translated, and annotated over 1,000 linguistic and cultural narratives, which are now available in PARADISEC, an international digital archive. Based on these materials, we have published 15 papers, delivered 29 presentations, and released 3 books. Additionally, as part of our outreach efforts to local communities, we have produced and published 145 storytelling videos and 111 literacy education picture books.

研究分野：言語学

キーワード：カチン族 危機言語 危機文化 言語ドキュメンテーション デジタルアーカイブ

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

ミャンマー北部のカチン人の言語と文化は、社会人類学 (Leach 1954) やチベット・ビルマ比較言語学 (Benedict 1972, Matisoff 2003) など様々な学術分野において早くから重要な役割を果たしてきた。同時に、現地の人々が長い年月をかけて培ってきた現地の言語文化は、現地の人々にとっても貴重な無形の文化財である。このように学術研究と現地社会にとって高いポテンシャルを示す一方、カチンの言語文化は近年の急激な社会変容により急速に失われつつある。現地の言語文化を色濃く反映する語りのテキストをフィールドワークにより蒐集するとともに、学術研究と現地コミュニティ双方が利用可能な形でアーカイブ化し公開することが急務となっている。

2. 研究の目的

本課題は、上記の背景のもと、ミャンマー北部の言語文化を反映する語りのテキストのドキュメンテーションを進め、テキスト資料の編纂、資料のデジタルアーカイブ化、文化語彙の蒐集と分析、言語文化の復興運動等を通じて、失われつつあるカチンの言語と文化の記録・保存・継承に貢献することを目的として開始された。

3. 研究の方法

ミャンマー北部におけるフィールドワークを通じて現地の言語文化を反映する語りのテキストのドキュメンテーションを進めることを予定していたが、2020年以降の新型コロナウイルスの感染拡大および2021年からの現地の政情不安による渡航自粛により、現地でのフィールドワークが困難となった。そこで、過去のフィールドワークで蒐集し多くが未整理となっていた2,754話の語りのテキストの編集と分析、そのアーカイブ化を進めるとともに、整理した資料に基づく研究成果の現地還元を進めた。具体的には未整理資料の文字起こし、翻訳、グロス付与等のアノテーションによるテキスト編纂、整理済テキストの国際的なデジタルアーカイブへのアーカイブ化、テキストをコーパスとして用いた語彙と文法の分析、これらの資料に基づく識字教材と紙芝居動画の作成による現地コミュニティへのアウトリーチ等を進めた。

4. 研究成果

ミャンマー北部の言語文化に関する語りのドキュメンテーションを進め、テキストの編纂、資料のデジタルアーカイブ化、編集したテキストに基づく語彙と文法の分析、現地コミュニティの言語文化の再活性化活動等を通じて、失われつつあるカチンの言語文化の記録・保存・継承に貢献した。音声資料のセグメンテーション・書き起こし・英訳・アノテーションを進め、整理した一千話以上の資料を国際的なデジタルアーカイブである PARADISEC にアーカイブ化した。これらの資料に基づく論文 15 件、発表 29 件、図書 3 件を公開した。同時に、現地へのアウトリーチを目的とした 111 話の識字教材絵本および 145 話の語りの紙芝居動画の作成・公開を行い、それらのアーカイブ化も進めた。そのうちの主要な研究成果は以下の通りである。

- (1) テキストの編纂。音声資料のセグメンテーション・書き起こし・英訳・アノテーションにより編集した一千話を超えるテキストを国際的な危機文化のデジタルアーカイブである PARADISEC にアーカイブ化した。これらの資料は、カチンの語りのデジタルコレクションである Kurabe 2013 および Kurabe 2017 の一部として、現在オープンアクセスで利用可能である。
- (2) 語彙と文法の分析。編集したテキストをコーパスとして用いた言語研究を進めた。これらには、15,000 件のコロケーションを含む『ジンポー語用例辞典』(倉部 2020a)、ジンポー語の動詞連続の単節性に関する研究 (Kurabe 2020b)、ジンポー語の名詞修飾と体言化に関する研究 (倉部 2020b)、カチン諸語の類型論に関する研究 (Kurabe 2021)、ジンポー語の方向接辞に関する研究 (Kurabe 2022) などが含まれる。
- (3) 現地文化の継承と再活性化を目的とした 111 話の識字教材絵本をデジタルブックとして公開した。同時に、言語文化に関する語りのテキストに基づく紙芝居動画を公開した。これらの資料は PARADISEC および東京外国語大学学術成果コレクションからオープンアクセスで利用可能である (Kurabe 2020a)。

引用文献

- Kurabe, Keita. 2013. Kachin folktales told in Jinghpaw. Collection KK1 at catalog.paradisec.org.au [Open Access]. <https://dx.doi.org/10.4225/72/59888e8ab2122>
- Kurabe, Keita. 2017. Kachin culture and history told in Jinghpaw. Collection KK2 at catalog.paradisec.org.au [Open Access]. <https://dx.doi.org/10.26278/5fa1707c5e77c>
- Kurabe, Keita. 2020a. Animated videos of Kachin folktales. Collection KK3 at catalog.paradisec.org.au [Open Access]. <https://dx.doi.org/10.26278/WK1A-GK63>
- Kurabe, Keita. 2020b. Serial verbs and monoclausality: A case study on Jinghpaw. *Kyoto University Linguistic Research* 39: 93–136.
- Kurabe, Keita. 2021. Typological profile of the Kachin languages. In Paul Sidwell and Mathias Jenny (eds.), *The languages and linguistics of mainland Southeast Asia: A comprehensive guide*, 403–432. Berlin, Boston: De Gruyter Mouton.
- Kurabe, Keita. 2022. The cis- and translocative suffixes in Jinghpaw. In Shintaro Arakawa and Takumi Ikeda (eds.), *Grammatical Phenomena of Sino-Tibetan Languages* 3, 1–24. Kyoto: Institute for Research in Humanities, Kyoto University.
- 倉部慶太. 2020a. 『ジンポー語用例辞典』府中：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 倉部慶太. 2020b. 「ジンポー語の名詞修飾表現」プラシャント・パルデシ・堀江薫(編)『日本語と世界の言語の名詞修飾表現』323–340. 東京：ひつじ書房.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計15件（うち査読付論文 9件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 12件）

1. 著者名 Keita Kurabe	4. 巻 17
2. 論文標題 Hpu Lum Htu and two boys: A folktale text in Jinghpaw	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Asian and African Languages and Linguistics	6. 最初と最後の頁 105-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15026/122478	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Keita Kurabe and Lu Awng	4. 巻 N/A
2. 論文標題 Kachin orature project: Documentation, archiving, and revitalization of oral heritage in northern Myanmar	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 In Sarah Sandman, Shannon Bischoff, and Jens Clegg (eds.) Voices: Perspectives from the International Year of Indigenous Languages	6. 最初と最後の頁 75-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 倉部慶太	4. 巻 14
2. 論文標題 ミャンマーの「尻尾の釣り」: ジンポー語による民話テキスト	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 言語記述論集	6. 最初と最後の頁 11-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 倉部慶太	4. 巻 14
2. 論文標題 ミャンマーの「のっべらぼう」: ジンポー語による民話テキスト	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 言語記述論集	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Keita Kurabe	4. 巻 161
2. 論文標題 The phonological configuration of word-initial NC sequences in Jinghpaw	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Gengo Kenkyu	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Keita Kurabe	4. 巻 3
2. 論文標題 The cis- and translocative suffixes in Jinghpaw	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Grammatical Phenomena of Sino-Tibetan Languages	6. 最初と最後の頁 1-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Keita Kurabe	4. 巻 40
2. 論文標題 Jinghpaw loanwords in Zaiwa: Putting flesh on the bones of the Jinghpaw-Zaiwa special contact relationship	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Kyoto University Linguistic Research	6. 最初と最後の頁 65-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Keita Kurabe	4. 巻 1
2. 論文標題 Oronyms in northern Burma: Asymmetry between highland and lowland place names	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Studies in Geolinguistics	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Keita Kurabe	4. 巻 n/a
2. 論文標題 Typological profile of the Kachin languages	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 In Paul Sidwell and Mathias Jenny (eds.) The languages and linguistics of mainland Southeast Asia: A comprehensive guide	6. 最初と最後の頁 403-432
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 倉部慶太	4. 巻 13
2. 論文標題 ミャンマーの「蛇婿入り」：ジンポー語による民話テキスト	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 言語記述論集	6. 最初と最後の頁 113-138
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 倉部慶太	4. 巻 13
2. 論文標題 ミャンマーの「鼠の婿選び」：ジンポー語による民話テキスト	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 言語記述論集	6. 最初と最後の頁 99-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Keita Kurabe	4. 巻 15
2. 論文標題 Ludlings and their implications for syllable structure in Jinghpaw	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Asian and African Languages and Linguistics	6. 最初と最後の頁 47-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15026/99896	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Keita Kurabe	4. 巻 39
2. 論文標題 Serial verbs and monoclausality: A case study on Jinghpaw	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Kyoto University Linguistic Research	6. 最初と最後の頁 93-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 倉部慶太	4. 巻 -
2. 論文標題 ジンポー語の名詞修飾表現	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ブラシャント・パルデシ・堀江薫 (編) 『日本語と世界の言語の名詞修飾表現』	6. 最初と最後の頁 323-340
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 倉部慶太	4. 巻 12
2. 論文標題 ミャンマーの人虎伝：ジンポー語による民話テキスト	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 言語記述論集	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計29件 (うち招待講演 8件 / うち国際学会 8件)

1. 発表者名 倉部慶太
2. 発表標題 現地の人々とともに作るミャンマー北部の口承文芸のアーカイブ
3. 学会等名 デジタルアーカイブ学会第7回研究大会企画セッション「文脈」を伝える：アジア・アフリカをアーカイブするための方法的探究
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 倉部慶太
2. 発表標題 ミャンマーの昔話を現地の人々とともに集め、伝える
3. 学会等名 フィールド言語学カフェ
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 倉部慶太
2. 発表標題 ミャンマーの口承文芸を現地コミュニティとともに記録し伝える
3. 学会等名 第17回四大学連合文化講演会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 倉部慶太
2. 発表標題 ミャンマー北部の口承文化のフィールド・アーカイピングに向けて
3. 学会等名 コモンズカフェ
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 倉部慶太
2. 発表標題 人文知の共有と対話のプラットフォーム構築に向けて：ミャンマー北部の口承文芸の記録・保存・継承
3. 学会等名 東京外国語大学2022年度第1回記者懇談会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Keita Kurabe
2. 発表標題 Bridging constructions in Jinghpaw
3. 学会等名 The 55th International Conference on Sino-Tibetan Languages and Linguistics (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Keita Kurabe
2. 発表標題 The Jinghpaw Times: Its role in the development of Jinghpaw orthography
3. 学会等名 The 2022 Meeting of "Between Southeast Asia and SouthAsia: Development, Ethnicity, and Religion"
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Jeremy Perkins, Seunghun J. Lee, Keita Kurabe
2. 発表標題 Aspirated and unaspirated fricatives in Korean, Burmese and Jinghpaw
3. 学会等名 The 6th meeting of ILCAA Joint Research Project "Phonetic typology from cross-linguistic perspectives"
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 倉部慶太
2. 発表標題 変化の漸次性：ジンポー語動詞の文法化
3. 学会等名 第21回文法研究ワークショップ「言語記述と文法化をめぐる諸問題」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Keita Kurabe
2. 発表標題 Is Jinghpaw conservative or innovative? The lexical borrowing rate in Jinghpaw
3. 学会等名 The 2nd Workshop on Linguistic and Cultural Diversity in the Northeast India-Myanmar-Southwest China region (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 倉部慶太
2. 発表標題 ジンボー語の語彙類型論的特徴
3. 学会等名 AA研共同利用・共同研究課題「東南アジア大陸部地域語彙の類型論的研究」2021年度第2回研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 倉部慶太
2. 発表標題 ジンボー語における文法化のクライン
3. 学会等名 日本言語学会第163回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Keita Kurabe
2. 発表標題 Eagles and elephants as Wanderworter in Mainland Southeast Asia
3. 学会等名 The 3rd Meeting of Geolinguistic Society of Japan
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Keita Kurabe
2. 発表標題 Collaborative approach towards revitalization of oral literature in northern Myanmar
3. 学会等名 Online Global Campus 2021: New Perspectives on Asia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kellen Parker van Dam, Keita Kurabe
2. 発表標題 A comparative account of the Jinghpaw lexicon in China, Myanmar and India: Evidence of the limited effects of language contact
3. 学会等名 The Sixth Workshop on Sino-Tibetan Languages of Southwest China (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Keita Kurabe
2. 発表標題 Lexical borrowability in Jinghpaw
3. 学会等名 The Sixth Workshop on Sino-Tibetan Languages of Southwest China (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Keita Kurabe
2. 発表標題 The scale of receptivity in Kachin contact linguistics
3. 学会等名 The 1st International Conference of the Tibeto-Burman Linguistics Association of North East India (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 倉部慶太
2. 発表標題 借用語受容における言語的要因と社会的要因：ビルマ語群北部下位語群の語彙借用
3. 学会等名 日本言語学会第162回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 倉部慶太
2. 発表標題 北ビルマの言語収斂
3. 学会等名 ユーラシア言語研究コンソーシアム2020年度年次総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 倉部慶太
2. 発表標題 ミャンマーで失われつつある口承文芸を記録する
3. 学会等名 第15回NINJALフォーラム「日本とアジアの消滅危機言語」（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Keita Kurabe, Ja Seng Roi Sumdu, Seng Pan Maran
2. 発表標題 PARADISEC and Kachin culture: Toward community-based practices of archival return in northern Myanmar
3. 学会等名 PARADISEC at 100 conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 倉部慶太
2. 発表標題 リモート・コラボレーションに基づくカチン研究
3. 学会等名 リンディフォーラム：ウェビナーシリーズ9
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 倉部慶太
2. 発表標題 フィールドワークで集めたデータをアーカイブする
3. 学会等名 フィールド言語学ウェビナー（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 倉部慶太
2. 発表標題 有気音と緊喉母音の相互排他性
3. 学会等名 日本言語学会第161回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 倉部慶太
2. 発表標題 東南アジア大陸部諸語における発声類型の地理分布
3. 学会等名 日本地理言語学会第二回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 倉部慶太
2. 発表標題 コミュニティベースのカチン研究に向けて
3. 学会等名 第2回カチン研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 倉部慶太
2. 発表標題 記録・保存・復興：消滅の危機に瀕した北ビルマの口承文芸
3. 学会等名 UTokyo Linguistics Colloquium (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 倉部慶太
2. 発表標題 現地コミュニティとの協働によるカチン口承文芸のアーカイビング
3. 学会等名 言語記述研究会 第104回例会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Keita Kurabe
2. 発表標題 Wunpawng mung a shara mying a lam (Toponyms in Kachinland)
3. 学会等名 Jinghpaw Literature 125th Anniversary Webinar Series (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 倉部慶太	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	5. 総ページ数 312
3. 書名 ジンボー語文法入門	

1. 著者名 倉部慶太	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	5. 総ページ数 302
3. 書名 ジンボー語読本	

1. 著者名 倉部慶太	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	5. 総ページ数 428
3. 書名 ジンボー語用例辞典	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------